

# アルファ・ウイン 企業調査レポート

## 日進工具 (6157 東証 JQS)

アルファ・ウイン 調査部  
<http://www.awincap.jp/>

### ● 要旨

#### ◆ 2017/3 期第 3 四半期決算～通期会社予想売上高に対する進捗率は 77.8%と順調

- ・日進工具（以下、同社）の 2017/3 期第 3 四半期累計期間の売上高は前年同期比 4.2%増の 6,593 百万円、営業利益は同 5.4%増の 1,578 百万円、経常利益は 2.8%増の 1,577 百万円、純利益は同 4.7%増の 1,069 百万円であった。通期会社予想売上高に対する進捗率は 77.8%、営業利益では 81.4%となった。
- ・主力製品である超硬小径エンドミルの主な需要先は、新車投入効果や欧米への輸出増で堅調に推移する自動車関連業界、スマートフォン向けや自動車のインテリジェント化進展で車載向けが拡大している電子部品関連業界である。これらの業界からの堅調な需要に支えられ、増収増益となった。
- ・同社が KPI に挙げる売上高経常利益率は 23.9%と目標の 20%を上回ったものの、前年同期に比べ 0.3%ポイント低下した。2年に1度開催の JIMTOF（わが国最大の工作機械関連見本市）への出展やブランディングの推進等により、販売費及び一般管理費（以下、販管費）が前年同期比 13.0%の大幅増となったこと、従来非連結であった同社の外注先である子会社新潟日進を連結子会社日進エンジニアリングが吸収合併したことによる受取配当金の減少（14 百万円）が主な要因である。

#### ◆ 第 3 四半期会計期間の業績～国内売上高は前四半期比 0.9%増

- ・2017/3 期第 3 四半期会計期間の売上高は 2,171 百万円、前年同期比 2.4%減、前四半期比 3.3%減であった。国内向けは 1,655 百万円、前四半期比 0.9%増と堅調であった。熊本地震の影響が一巡した自動車関連は新車投入効果や輸出の好調持続で活況であり、スマートフォンの高機能化や部品点数の増加、車載向け需要の拡大で電子部品関連も持ち直した。
- ・海外向け売上高は 515 百万円、前四半期比 14.7%減であった。中国・香港・台湾向け（決算期が 12 月の子会社日進工具香港経由で 3 カ月のタイムラグが生じる）売上高は 184 百万円。4 月～6 月期にスマートフォン関連の新規種向け金型需要が膨らんだが、7 月～9 月期は巡航速度に戻り、前四半期比 41.2%減となった。その他アジア向け売上高は 159 百万円、タイの自動車関連が牽引し同 12.8%増と伸長した。
- ・売上総利益は前四半期比 2.4%増（1,215 百万円）であった。CBN 工具の品揃え拡充などのコスト増要因があったが、賞与引当金の積み増しが無い会計期間で労務費が減少したこと等から増益となった。営業利益は前述の JIMTOF 関連経費増などから同 10.4%減（469 百万円）、経常利益は同 13.6%減（458 百万円）となった。売上高経常利益率は 21.1%と同 2.5%ポイント低下したものの、目標の 20%は上回った。

#### ◆ 前期比微増収微増益の期初計画を据え置くが、増配や株主優待制度導入を実行へ

- ・2017/3 期の会社計画は売上高が前期比 1.2%増の 8,480 百万円、営業利益は同 1.3%増の 1,940 百万円、経常利益も同 1.3%増の 1,980 百万円、当期純利益は同 0.5%増の 1,350 百万円を見込んでいる。第 3 四半期も想定線の業績を上げたため、期初から変更されていない。
- ・第 3 四半期累計実績から単純に算出した第 4 四半期業績見通しは、売上高が 1,887 百万円、前年同期比 8.1%減、営業利益は 362 百万円、同 13.0%減となる。同社は、スマートフォン販売の減速等で IT 関連向けが低調に終わる可能性があるが、自動運転等の進展により自動車関連向けの販売は堅調に推移すると想定している。

### 決算メモ

1/3

アルファ・ウイン企業調査レポート(以下、本レポート)は、掲載企業のご依頼によりアルファ・ウイン・キャピタル株式会社(以下、弊社)が企業内容の説明を目的に作成したもので、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。弊社は、本レポートの配信に関して閲覧した投資家の皆様の本レポートを利用したこと、又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。また、本件に関する知的所有権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

・同社は株主数の拡大及び同社株式の流動性向上を目的に、17年1月1日付けで1株→2株の株式分割を行った。1株当たり配当金は分割調整後で前期の25円から35円に増配となる予定である。また、2017年より株主優待制度(毎年3月末日において1単元100株以上を保有する株主に対し1,000円分のクオカードを贈呈)を導入するなど、株主還元には積極的な姿勢を見せている。

【6157 日進工具 業種:機械】

決算期	売上高 (百万円)	前期比 (%)	営業利益 (百万円)	前期比 (%)	経常利益 (百万円)	前期比 (%)	純利益 (百万円)	前期比 (%)	EPS (円)	BPS (円)	配当金 (円)
2014/3	6,418	7.0	1,069	16.0	1,107	16.3	694	31.7	55.56	614.21	15.0
2015/3	7,402	15.3	1,481	38.5	1,534	38.6	973	40.1	77.85	678.24	20.0
2016/3	8,382	13.2	1,914	29.3	1,954	27.4	1,342	37.9	107.38	765.33	25.0
2017/3 CE	8,480	1.2	1,940	1.3	1,980	1.3	1,350	0.5	107.97	—	35.0
2016/3 Q3	6,329	15.7	1,498	38.6	1,534	37.0	1,021	39.4	81.66	739.68	0.0
2017/3 Q3	6,593	4.2	1,578	5.4	1,577	2.8	1,069	4.7	85.53	823.02	15.0

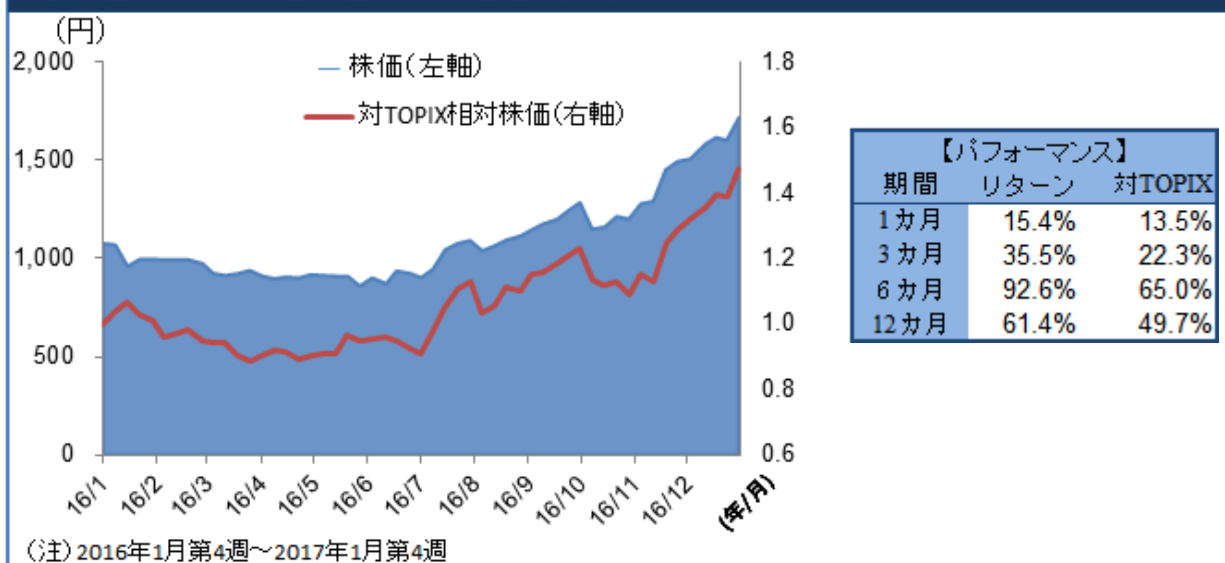
(注) CE: 会社予想、Q3: 第3四半期累計期間、2017年1月1日付けで1株→2株に分割。1株当たり指標は分割調整後

【株価・バリュエーション指標: 6157 日進工具】

項目	2017/1/27	項目	PER (倍)	PBR (倍)	配当利回り	配当性向
株価 (円)	1,715	前期実績	16.0	2.2	1.5%	23.3%
発行済株式数 (千株)	12,504	今期予想	15.9	—	2.0%	32.4%
時価総額 (百万円)	21,444	前期末自己資本比率		84.2%	前期ROE	14.9%

(注)バリュエーション指標の予想は日進工具業績予想に準拠

【株価チャート (週末値) 6157 日進工具】



## ディスクレーマー

アルファ・ウイン 企業調査レポート（以下、本レポート）は、掲載企業のご依頼により、アルファ・ウイン・キャピタル株式会社（以下、弊社）が作成したものです。

本レポートでは、企業の保有する独自の製品・サービスや技術など、持続的成長に必要な競争力の源泉を明確に描き出すとともに、企業の外部環境や内部環境を強み・弱み・機会・脅威の4つのカテゴリーで分析するSWOT分析の企業戦略評価への活用、KPI（業績指標）やガバナンスの確認等も行っております。

本レポートは、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。弊社は投資家の皆様が本レポートを利用したこと、又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても一切責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。

本レポートの内容は、一般に入手可能な公開情報に基づき、アナリストの取材等を経て作成されたものです。弊社及び本レポートの作成者が、掲載企業の有価証券を既に保有していること、あるいは今後において当該有価証券の売買を行う可能性があります。

本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。

本レポートの著作権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

本レポートについてのお問い合わせは、電子メール【[info@awincap.jp](mailto:info@awincap.jp)】にてお願いいたします。